

# 災害時住民

## 支え合い

## マップ作成

マニュアル

みんなで作ろう！  
”お互いさまのまち”

災害時の  
安否確認

情報把握  
と共有

防災意識  
の向上

支え合いの  
地域づくり

地域の  
課題発見



私たちのまちは、糸魚川静岡構造線の上にあり、いつ災害が起こるかもしれません。災害が発生するまでに、自分たちの住んでいる地域が災害に対してどのような弱点があるのか具体的に把握しておくことが大切です。

…また、過去の災害から、災害時の被害を抑えるには、近隣の助け合い支え合いが有効であることがわかっています。

…支え合いマップは、地域の弱点や災害時要援護者の情報を皆さんで共有し、弱点の解決や要援護者の避難方法を考えることで、災害への備えとお互いさまの地域づくりを行うことを目的としています。

…誰のためではありません。自分や家族のためにもマップづくりをすすめましょう。

# マップづくり 1

# 防災マップづくり



大地震や風水害でどんなことが起こるか想像しながら、作成してください。

どんな情報をみんなで共有することがいいのか、地域の資源をマップに落とし、共有しましょう。

● 防災情報



## 最低必要な情報 (必須)

- 地域で決めた一時集合場所  
.....● 大シール
- ※行政指定避難所は、皆さんで確認し把握してください。

## その他情報 (例)

- 消火栓 ○防火水槽
- 地域の危険箇所
- 安全な避難経路
- 薪のあるお宅 など

## 準備するもの

### ◆ファイル◆



### ◆シール◆



### ◆住宅地図◆

地域の範囲が網羅できるもの

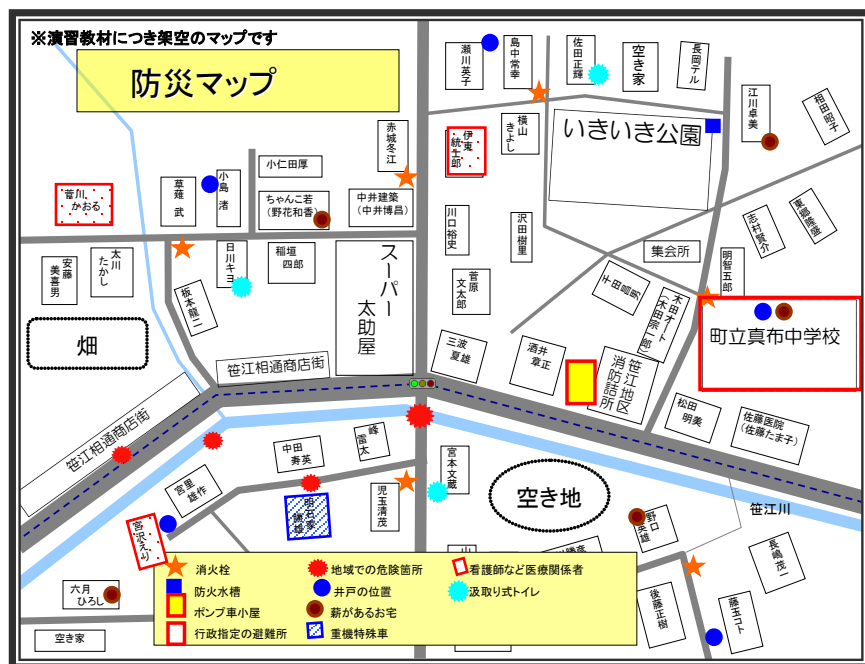


◎作成初年度については、社協で準備します。  
※住宅地図は、更新の都度、社協で準備します。

マップづくりの  
ポイント!!



- ①組、木戸、集落など小地域ごとのマップを作成してください。
- ②安否確認を迅速に行うため、小地域ごとの一時集合場所を決めてください。
- ③一時集合場所は、小地域単位の皆さんで決めましょう



# マップづくり 2

# 支え合いマップづくり

要援護者情報  
把握のための  
ポイント!!



災害時要援護者の区分と色シールを指定して、完成した防災マップに情報を落としこみ支え合いマップを作成しましょう。落とし込まれた要援護者が安全に避難できる地域か皆さんで考えましょう。

●要援護者となりうる人

## 最低必要な情報(必須)

- 65 歳以上一人暮らし高齢者  
..... ● シール
- 65 歳以上の高齢者世帯  
..... ● シール
- 上記の中で、助けが必要な方及びその他助けが必要な方  
..... ● シール

## その他情報(例)

- 身体障がい者    ○知的障がい者
- 精神障がい者
- 乳幼児・妊婦    など

災害時や訓練時に使用するとはいえ、個人情報の取扱いには注意が必要です。マップに落とし込む要援護者には同意を取りましょう。

### 同意を取る方法

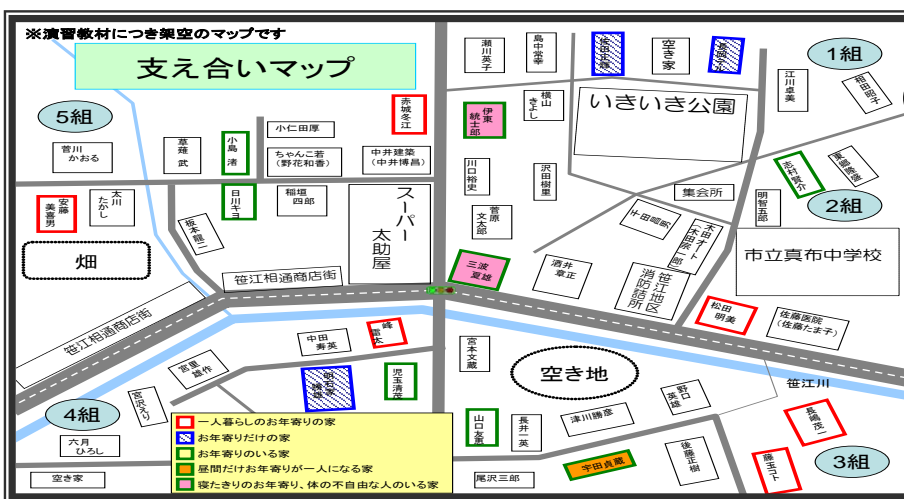
別冊「様式集」を参考いただき、対象者お一人おひとりから同意書にて同意を得てください。

## 市社協との情報共有!

完成したマップは、市社協へ提出いただき地域と情報を共有します。そのためにも同意書が必要です。

### 社協は、災害時マップを活用します!!

大規模災害の場合は、社協が災害ボランティアセンターを立上げ運営します。マップの情報をもとに、ニーズ調査を行います。



マップ  
完成!!



皆さんの地域は  
安心・安全な町でしたか?



# マップづくりの流れ

1

## マップづくりの下準備（準備会の立上げ）

自治会役員、自主防災会、小地域福祉ネットワークなどの皆さんで、マップ作成準備会を組織。どんなマップにするかを考えましょう。

2

## マップづくりの下準備（作成方法の検討）

検討内容

- ① 必須情報以外で、どんな情報を共有するか
- ② 情報をどうやって、誰が収集するか（誰に協力をしてもらうか）  
※ 情報収集協力者はできるだけ多くの方に協力いただきましょう

3

## 自治会説明会の開催（了解と周知）

準備会で決定した内容を自治会役員会などで説明会を開催し、了解を得ましょう。

4

## 情報収集と同意

準備会で決定し、自治会で了解いただいた内容に基づき、情報を収集しましょう。また、対象となる要援護者の方から同意を得ましょう。

5

## 収集した情報をもとにマップ作成

情報を集めてきた方皆さんでマップを作成しましょう

完成したマップを見て、地域の弱点や要援護者の安全な避難方法について考えましょう

年に1回マップの更新



## マップづくり 4

# マップ管理と更新方法

## マップの管理方法

シール説明表  
も一緒につくり  
管理しましょう



|   |          |
|---|----------|
|  | 一時集合場所   |
|  | 一人暮らし高齢者 |
|  | 高齢者世帯    |
|  | 助けが必要な方  |



隣組、木戸、集落などの小地域マップは？

小地域ごとに管理してください。管理者は、小地域内の役員さんがいいでしょう。  
また、小地域の全世帯へ配布する形もいいでしょう。ただし、個人情報进行考慮し、  
管理には最善の注意が必要です。



自治会全体のマップの管理は？

小地域ごとに、作成したマップは、『小地域内で管理するマップ』『自治会として  
管理するマップ』『社協へ提供するマップ』として同じものを3部作成します。

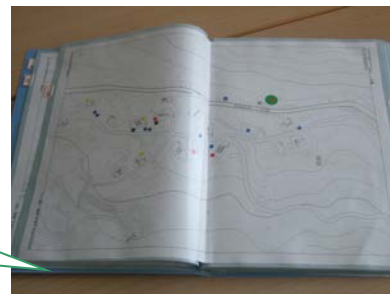
自治会として管理するマップについては、社協が配布したファイルに小地域ごと  
わかるようにファイルし自治会長などが管理するのがいいでしょう。



ファイル1ページには、シール  
説明表を閉じましょう。

小地域の地区名をラベルシールで整理しましょう

小単位のマップをそれぞれファ  
イルして管理しましょう



## マップの更新方法

### 《更新作業の留意事項》

- ① 更新時期は、自治会引継ぎ時（毎年12月）に、新旧役員、新旧隣組長で行ってください。（※更新時期に、社協より新たな地図を送付します。）
- ② 新たな対象者には、必ず同意書を取りましょう。
- ③ 更新の都度、すべての情報を新たに落としなおしてください。その際、古いマップは、最善の注意を払い処分しましょう。
- ④ 更新作業終了後には、1部社協へマップを提出してください。